

## 遊びと学びと食の事業「WAKU☆DOKI はっぴー」について

この事業については、狭山市における地区センターが所管する、「まちづくり推進事業」の助成を受けて実施している事業です。「まちづくり推進事業」は市内8地区センターがそれぞれ地域の特色を生かし、地域住民が自ら主体的に参画し、魅力とふれあいのある地域のまちづくりに取り組む事業です。

事業に対しては、当地区の現代的課題である、「孤食」や「学力の向上」更には「地域力の向上」に対して、非常に画期的な取り組みであると認められることから、主催のNPO法人地域教育ネットワークに加え、当水富地区センターも共催として携わっており事業を展開しています。

事業への参加は、原則登録制としており、現在、実施会場となる「水富公民館」と「広瀬公民館」併せて70名を超える小中学生の参加登録があり、ボランティアの方々については、60名を超える登録をいただいております。

特徴として、遊びと学びと食の3つの事業をそれぞれ地域のボランティアの方々に支えていただき、事業に必要な教材や食材等についても、地域の企業に支援していただき、持続可能な事業を目指しております。「遊び」については、隣接する小学校の校庭を利用した屋外遊びと地域の方に提供いただいたトランプ、将棋や折り紙等、今の子供たちが余り経験したことのない「昭和の遊び」を中心とした室内遊びに分類されております。

「学び」については、提供いただいた教材を中心に学習し地区のボランティアの学習支援に加え、市内にある無料学習塾の全面的な支援をいただいております。

「食」については、毎回子どもたちが大変楽しみにしており、品数も多く提供できるよう工夫され、提供いただいた食材による地産地消を原則に体にやさしいメニューを心がけています。また、食事の際はスタッフと子供が隣に座るよう配慮し、食のマナーについても同時に指導しています。

当初は子供たちを対象として立ち上げた事業ですが、大勢のボランティアに協力いただいたことにより、普段子供と接する機会のない高齢の一人暮らしの方等の参加もあり、スタッフについても新たな地域交流の場を提供することができたことは、まさに「まちづくり推進事業」が目指す、地域住民が自ら主体的に参画し、魅力とふれあいのある地域のまちづくりを実現させた事業といえます。

今後も、この水富地区が笑顔あふれ、子供から高齢者までつながるまちづくりとなるようこの事業に対して地区センター、水富公民館として全面的に支援してまいります。

平成29年10月1日

水富地区センター